



SAP Ariba 

機能の概要

リスク影響度設定の UI への移動

Lisa Gangewere、SAP Ariba
一般提供予定: 2019 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

新機能: リスク影響度設定の UI への移動

お客様の課題

現在のリスク設定プロセスでは、サプライヤリスクマネージャが、MS Excel 形式のリスク設定ワークブックをダウンロードし、リスク設定を調整して保存してから、リスクワークブックの設定をエクスポートし、それぞれのサイトに変更をインポートするという処理を手作業で行う必要があります。また、それぞれが行った変更を追跡し、各リスク設定のバージョンを保存する必要がありますが、変更者や変更内容を把握できない状態になっております。

ソリューション領域

SAP Ariba Supplier Risk

SAP Ariba でこの課題に対応

現在、リスク設定ワークブックのスプレッドシートは、サプライヤリスク管理ユーザーインターフェイスに統合されています。サプライヤリスクユーザーは、[ユーザー設定] → [サプライヤリスク管理] → [リスク影響度の設定] で管理ユーザーインターフェイスを使用してリスク設定にアクセスします。

すべてのユーザーが、有効なバージョンの設定を表示して確認できるようになります。

リスク影響度の変更と変更の有効化を行う権限が付与されるのは、サプライヤリスクマネージャのみとなります。

特定のサプライヤに対してカスタムフィールドを適用する場合は、引き続き、それらのフィールドに対応するサプライヤプロファイルに割り当てるインポートファイルを作成する必要があります。

実装に関する情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

実装の難易度
関連する地域

ロータッチ/容易
グローバル

実現される主なメリット

リスク設定がユーザーインターフェイスに統合され、スプレッドシートでのオフライン作業が不要になりました。これによって時間を節約することができ、複雑さが軽減されます。設定の変更の追跡、バージョンの保存、変更を行ったユーザーと変更内容の確認が可能になり、プロセスの可視性が向上します。

前提条件および制限事項

この機能を使用するには、SAP Ariba Supplier Risk のライセンスが必要です。

すでにリスク設定ワークブックを使用してリスク影響度の設定を行っている場合は、新しいユーザーインターフェイスを使用してカスタム設定を完了する必要があります。以前にカスタマイズしたリスク影響度設定の移行は、お客様の責任において行ってください。

機能の概要

新機能: リスク影響度設定の UI への移動

詳細な機能情報

リスク設定ワークブックの従来の機能は、すべてオンライン上の管理ユーザーインターフェイスに移動されています。これにより、変更やバージョンの手動での追跡が不要となり、リスク影響度設定を簡単に設定できるようになります。

リスク影響度設定は今後、[ユーザー設定] → [サプライヤリスク管理] → [リスク影響度の設定]で行います。

サプライヤリスクマネージャは、新しいドラフトの作成と、既存のドラフトの確認/削除/編集を行うことができます。

サプライヤリスクユーザーは、最新バージョンのリスク影響度設定を確認することができます。

リスク影響度設定のランディングページには、設定履歴の一覧が表示されます。また、ここから、通常のスコアの設定で始まるリスク影響度設定のドラフトバージョンにアクセスすることもできます。

サプライヤリスクマネージャは、リスク影響度をオンラインで調整し、ドラフトバージョンを保存したり最終バージョンを有効化したりすることにより、それぞれのリスク選好度に合わせてリスク影響度をカスタマイズすることができます。

各バージョンを同時に編集できるのは 1 人のサプライヤリスクマネージャのみとなります。ただし、複数のユーザーが同時に設定を表示できます。

Supplier risk administration

Reports

Configure risk score

Import data

Configure alerts

Customize supplier alerts

Content and service providers

Risk scoring configuration history

Select	Active	Version number	Name	Activated date	Deactivated date	Modified at	Last modified by
Action	✓	06	Added financial settings	Jul 22, 2018	Jul 24, 2018	Jul 22, 2018	Kathy Ross
Action		05	Adjusted high settings	Jul 22, 2018	Jul 25, 2018	Jul 22, 2018	Kathy Ross
Action		04	Default score configuration	Jul 22, 2018	Jul 26, 2018	Jul 22, 2018	Kathy Ross
Action		03	Default score configuration	Jul 22, 2018	Jul 27, 2018	Jul 22, 2018	Kathy Ross
Action		02	Default score configuration	Jul 22, 2018	Jul 27, 2018	Jul 22, 2018	Kathy Ross

First◀▶LastViewing: 1/2

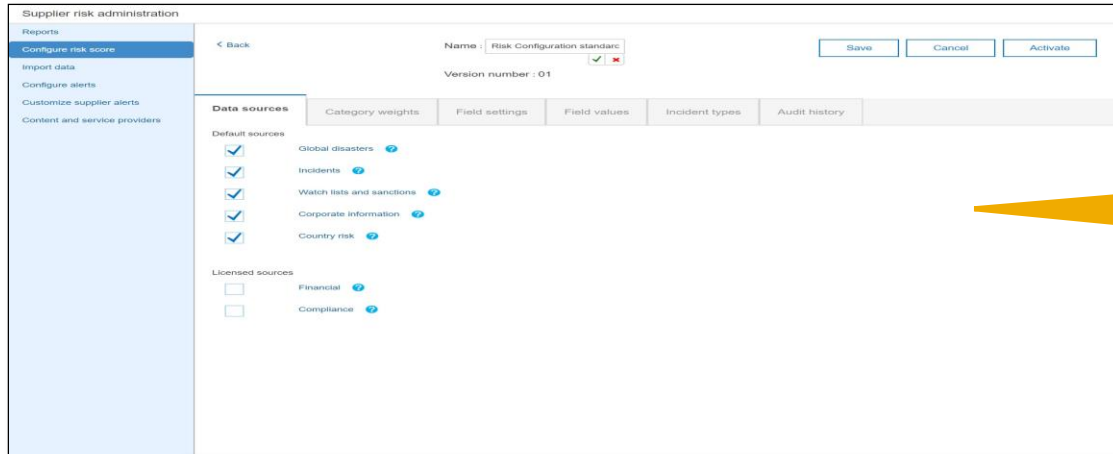
Risk scoring configuration draft

Select	Version number	Modified at	Name	Last modified by
Action	01	Jul 22, 2018	Added financial settings	Kathy Ross
Create new draft		Jul 22, 2018	Added financial settings	Kathy Ross
Delete draft		Jul 22, 2018	Added financial settings	Kathy Ross
Edit draft		Jul 22, 2018	Added financial settings	Kathy Ross

First◀▶LastViewing: 1/1

機能の概要

新機能: リスク影響度設定の UI への移動

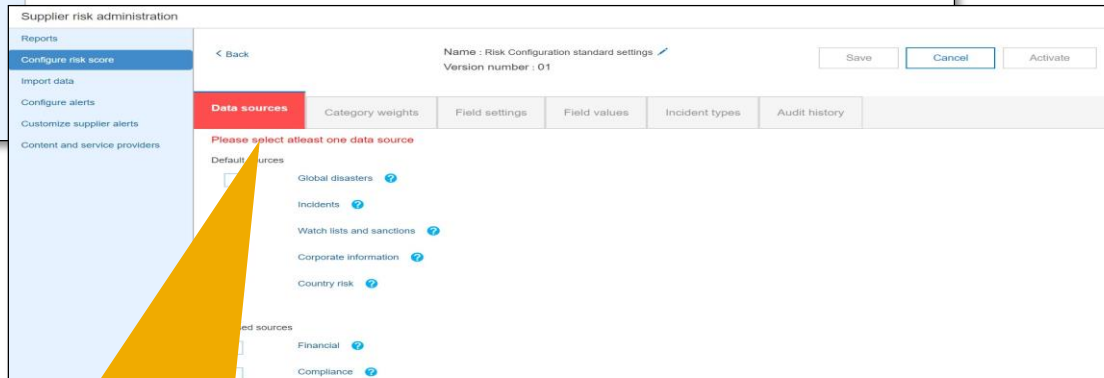


リスク影響度に寄与する領域は、それぞれ個別のタブで表示されます。

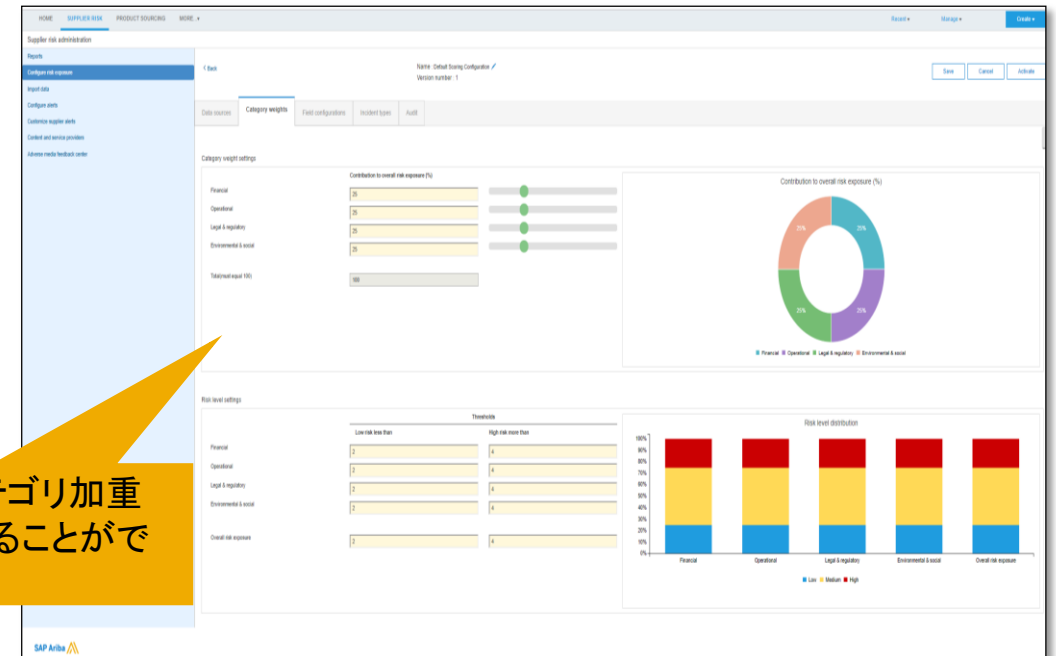
ユーザーは、リスク影響度に寄与するデータソースを選択します。

各データソースについてまとめた詳細が提供されます。

説明はオンラインで提供され、簡単にアクセスできます。



リスク影響度に適切に対応していない要件が強調表示されます。



ユーザーは、カテゴリ加重を簡単に調整することができます。

機能の概要

新機能: リスク影響度設定の UI への移動

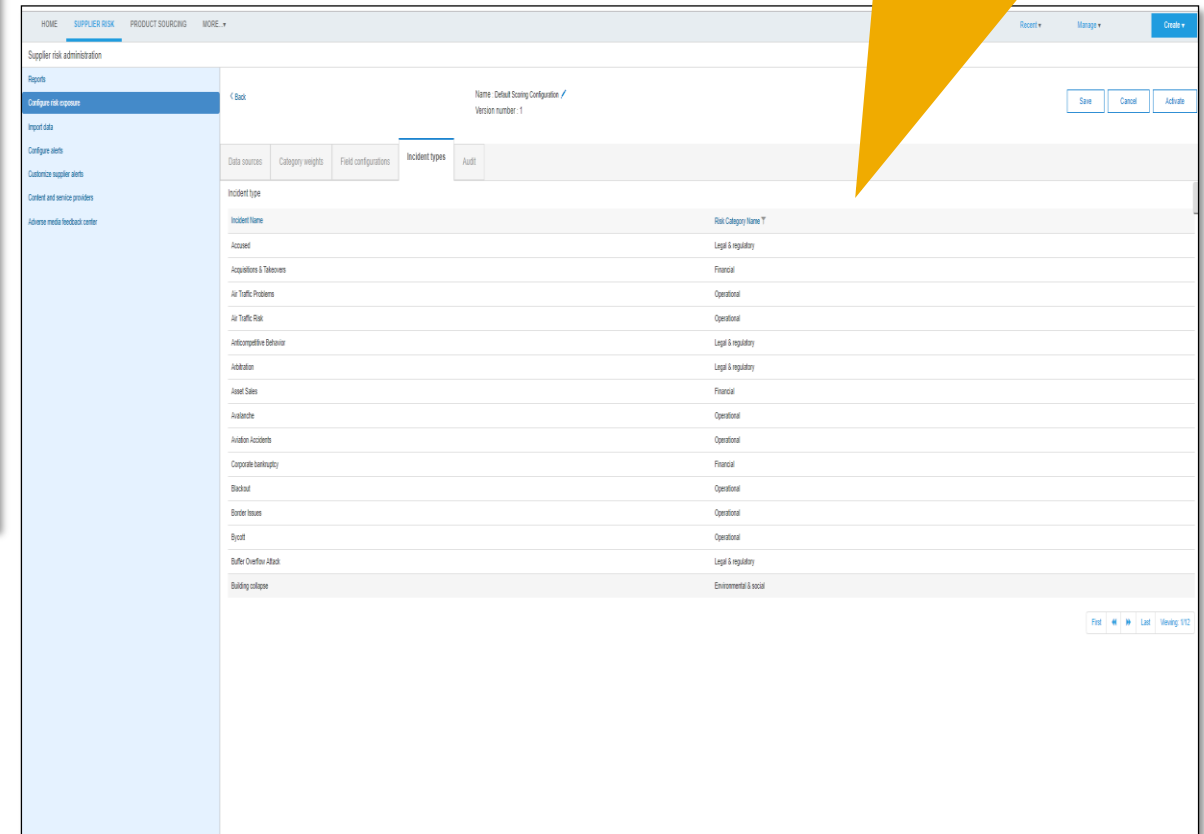
ユーザーは、情報目的で、リスクインシデントとそれに対応するリスクカテゴリを参照することができます。

リスク影響度に寄与するフィールドを、簡単に設定することができます。

通常設定のソースや認可プロバイダからの標準フィールドに対する加重を変更することができます。

カスタムフィールドを追加して、加重およびリスクカテゴリを割り当てることができます。

各データソースをまとめた詳細が表示されます。



Incident type	Risk Category Name
Accident	Legal & regulatory
Acquisition & Takeovers	Financial
Air Traffic Problems	Operational
Air Traffic Risk	Operational
Anticompetitive Behavior	Legal & regulatory
Arbitration	Legal & regulatory
Asset Sales	Financial
Avalanche	Operational
Aviation Accidents	Operational
Corporate bankruptcy	Financial
Blackout	Operational
Border issues	Operational
Boycott	Operational
Buffer Overflow Attack	Legal & regulatory
Building collapse	Environmental & social